

第9回

哀しみの モーツァルト

『かなしさは疾走する』

小林秀雄

「モーツァルトの短調は 全作品の4.8%」

三枝成彰

三枝成彰による短調についてのお話付き

2026年12月5日(土)

サントリーホール ブルーローズ

13:30開場 14:00開演

【モーツァルトの短調作品を中心としたプログラム】

●歌曲「希望に」K.390、「魔術師」K.472、「老婆」K.517、
「レーゼが不実な恋人の手紙を焼いたとき」K.520、
「別れの歌」K.519

●トルコ行進曲 イ短調 (ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 K.331(300i)より)
(オリジナル、三枝成彰版、池辺晋一郎版、千住明版、横山幸雄版
ファジル・サイ版、黒田賢一版、アルカディ・ヴォロドス版)

●弦楽五重奏曲 第4番 ト短調 K.516

●レクイエム ニ短調 K.626 よりラクリモーサまで

●三枝成彰による短調についてのトーク

※曲目、曲順は変更になる場合がございます。ご了承ください。

□入場料:全席指定 S席6,000円 A席3,000円
(車いす席1,000円メイ・コーポレーションのみの取り扱い)

※未就学児はご入場いただけません。※出演者が変更になる場合がございます。

※公演中止の場合を除き、チケット代金の払い戻しはできません。

主催／お問い合わせ:メイ・コーポレーション 03-3584-1951(平日10:00~18:00)



カウンターテナー 村松稔之



指揮 初谷敬史



ヴァイオリン 崔文洙

©New Japan Philharmonic



ピアノ 黒木雪音



エレクトーン 清水のりこ

©FUKAYA / auraY2



お話 三枝成彰

□チケットぴあ: <https://t.pia.jp/>

□サントリーホールチケットセンター

TEL.0570-55-0017 ※10:00~18:00(休館日を除く)※オペレーター対応

WEBサイト: <http://suntory.jp/HALL/>

協賛

木下グループ
KINOSHITA GROUP

House

プロを輝かせる服。

KAZEN

モーツァルトの命日に奏でる 短調作品を中心としたプログラム



フリガナ ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

氏名

Wolfgang Amadeus Mozart

生年月日 1756年1月27日

出生地

ザルツブルク(神聖ローマ帝国) 現在の国名 オーストリア

没年月日 1791年12月5日

死亡地

ウィーン(神聖ローマ帝国) 現在国名 オーストリア



カウンターテナー／村松稔之 Toshiyuki Muramatsu

京都市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院修士課程独唱科を首席で修了。渡伊後、ノヴァーラG.カンテッリ音楽院古楽声楽科にて研鑽を積み、第20回ABC新人オーディション最優秀音賞、第24回青山音楽賞新人賞、第19回東京音楽コンクール第3位など受賞。2017年度野村財団奨学生、2019年度京都市芸術文化特別奨励者、2026年「令和7年度京都市芸術新人賞」受賞。2017年、三枝成彰作曲《狂おしき真夏の一日》ユウキ役、2020年、井上道義×野田秀樹演出《フィガロの結婚》ケルビーノ役に出演。2022年、ヘンデル《ジュリオ・チェザレ》ニレノ役に新国立劇場オペラデビューを果たす。同年、CD『武満徹ソング・ブック-小さな空-』をリリースし『レコード芸術』特選盤に選出される。2025年には歌劇《平家物語》牛若丸・源義経役、2026年には調布国際音楽祭委嘱新作オペラ《ZEN》に出演。オペラ、宗教音楽、日本歌曲、現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、国内外で精力的な演奏活動を展開している。2026年秋にはコン音楽祭への出演をはじめ、オーストリア、スロバキアでの公演を予定している。村松稔之公式 LINE ID : @toshiyuki



指揮／初谷敬史 Takashi Hatsugai

東京芸術大学声楽科卒業。1996年、コンテンポラリー・ヴォーカル・アンサンブル「ヴォクスマナ」を設立し、委嘱初演活動を通じて「声」による新しい音楽創造の可能性を探索している。三枝成彰率いる「六本木男声合唱団 ZIG-ZAG」でコーラスマスターを務め、「東京マラソン」にて第1回より開会式の『君が代』を指揮。2017年、三枝成彰のオペラブッファ『狂おしき真夏の一日』初演の副指揮者を務める。また同年、サン・ピエトロ大聖堂におけるアンジェロ・コマストリ枢機卿による司式「日本・バチカン市国 国交樹立 75 周年記念ミサ」にて聖歌隊の指揮を務める。2018年及び 2019 年、「3 歳からの渋谷こどもオペラ」にて、オペラ『ヘンゼルとグレーテル』(総合監督：三枝成彰、魔女・母役：江原啓之)の演出・指揮を務める。2022年より「美しき日本のうた」にて東京フィルハーモニー交響楽団を指揮。



ヴァイオリン／崔 文洙 Munsu Choi

東京生まれ。桐朋学園大学ディプロマコースを経て1988年ソヴィエト国立モスクワ音楽院に留学、ワレリー・クリモフ、セルゲイ・ギルシェンコの両氏に師事。94年同音楽院を首席で卒業。数年に一度しか与えられない「ソリスト」の称号を外国人として初めて授与され更に同大学院へ進み97年帰国。同年小澤征爾氏に認められ新日本フィル・コンサートマスターに就任。2000年より同楽団のソロ・コンサートマスターを務める。2009年より大阪フィルの首席客演コンサートマスターに就任。現在両楽団のソロ・コンサートマスターを兼任し多忙を極めている。2016年第17回ホテル・オーケラ音楽賞受賞。トリオ・エドアルテ主宰。2023年度より武蔵野音楽大学の客員教授に就任し、後進の指導にあたる。使用楽器：1661年製ニコラ・アマティ「グランドアマティ」。



ピアノ／黒木雪音 Yukine Kuroki

7歳でオーケストラと共演し、日本はもとよりヨーロッパ等国内外で演奏活動を行う。2022年、ダブリン国際ピアノコンクールにおいて日本人として初めて優勝、リストユトレヒト2022第1位、2023年、アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール第3位。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、アイルランド国立交響楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団、リトアニア国立交響楽団、ソナムフィルハーモニー管弦楽団等と共演。ヨーロッパの国際音楽祭やコンサートへボウ、カーネギーホールに次々とデビューしている。これまでアイルランド、ノルウェー、イギリス、オーストリア、ドイツ、オランダ、ポーランド、リトアニア、イタリア、イスラエル、カナダ、アメリカ、韓国にてソノリサイタルを行う。昭和音楽大学卒業、同大学院修士課程修了、同附属ピアノアートアカデミー修了。江口文子氏に師事。



エレクトーン／清水のりこ Noriko Shimizu

'92年電子オルガンコンクール全国大会グランプリ。クラシックの演奏家として国内外でエレクトーン独奏伴奏によるオペラ《トスカ》《蝶々夫人》《トゥランドット》《椿姫》《イルトロヴァトーレ》《カルメン》《リゴレット》他、多数の声楽作品、他ジャンルとのコラボレーションを手がける。海外では'97年カーネギーホールにて邦人作品を演奏、NY「Concert Review」誌に"Virtuoso"と評された。'02年日韓サッカーワールドカップ芸術公演、'10年上海 ISME「アジアの電子オルガン演奏家によるコンサート」、'13年「日・ASEAN 友好協力 40 周年記念演奏会」など。三枝成彰作曲オペラ《Jr. バタフライ》《狂おしき真夏の一日》、「オペラ夏の祭典 2019-20 Japan ↔ Tokyo ↔ World」参加。2025年日本国際博覧会にてイタリア館招聘によりオペラ《トスカ》ハイライトを演奏。ヤマハエレクトーンシスティ契約演奏家。



お話／三枝成彰 Shigeaki Saegusa

1942年生まれ。東京音楽大学名誉教授。代表作に「忠臣蔵」、「Jr. バタフライ」、オトリオ「ヤマトタケル」、NHK大河ドラマ「太平記」「花の乱」、映画「優駿 ORACION」「機動戦士ガンダム〜逆襲のシャア〜」など。著書に「大作曲家たちの履歴書」「驚天動地のクラシック」など。2007年に紫綬褒章受章。2008年、日本人初となるブッチーニ国際賞を受賞。2011年、渡辺晋賞を受賞。2013年、オペラ「KAMIKAZE- 神風-」を初演。2014年8月、イタリア・ブッチーニ音楽祭にてオペラ「Jr. バタフライ」イタリア語版を初演(2016年、日本にて初演)。2017年10月に新作オペラ「狂おしき真夏の一日」を世界初演した。同年、旭日小綬章を受章。2020年、文化功労者顕彰を受けた。2023年、男声合唱と管弦楽のための「愛の手紙〜恋文」を初演。2025年、団長を務める六本木男声合唱団 ZIG-ZAG が、スペイン・バルセロナの L'Auditori にて三枝成彰「最後の手紙」全曲公演、サグラダ・ファミリアにて三枝成彰「レクイエム」の公演をそれぞれ行う。

【出演】

■カウンターテナー：村松稔之 ■ピアノ：黒木雪音、河野紘子

■崔 文洙弦楽四重奏団：崔 文洙(ヴァイオリン) 新日本フィルハーモニー交響楽団 ソロ・コンサートマスター、大阪フィルハーモニー交響楽団 ソロ・コンサートマスター

ピルマン聡平(ヴァイオリン) 新日本フィルハーモニー交響楽団 首席

篠崎友美(ヴィオラ) 東京都交響楽団 首席、森野 開(ヴィオラ) フリー

富岡廉太郎(チェロ) 読売日本交響楽団 首席

■指揮：初谷敬史 ■エレクトーン：清水のりこ

■合唱：稲村麻衣子(ソプラノ)、野間 愛(アルト)、金沢青児(テノール)、押見春喜(バス) ■お話：三枝成彰、小澤純一

W.A.モーツァルト オール短調プログラム

- 歌曲「希望に」K.390、「魔術師」K.472、「老婆」K.517、「ルイーゼが不実な恋人の手紙を焼いたとき」K.520、「別れの歌」K.519

カウンターテナー：村松稔之、ピアノ：河野紘子

- トルコ行進曲 イ短調(ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 K.331 (300i) より)(オリジナル、三枝成彰版、池辺晋一郎版、千住 明版、横山幸雄版、ファジル・サイ版、黒田賢一版、A. ヴォロドス版)

ピアノ：黒木雪音、河野紘子

- 弦楽五重奏曲 第4番ト短調 K.516

- レクイエム ニ短調 K.626

第1曲 イントロイトゥス

第2曲 キリエ

第3曲 ディエス・イレ

第4曲 トゥーバ・ミルム

第5曲 レクセス・トレメンダエ

第6曲 レコルダレ

第7曲 コンフターティス

第8曲 ラクリモーサ

指揮：初谷敬史 崔 文洙弦楽四重奏団

エレクトーン：清水のりこ

合唱：稲村麻衣子(ソプラノ)、野間 愛(アルト)

金沢青児(テノール)、押見春喜(バス)

- 三枝成彰による短調についてのトーク

※出演者、曲目が変更になる場合がございます、予めご了承くださいませ。

サントリーホール ブルーローズ

〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1 TEL 03-3505-1001

地下鉄

東京メトロ南北線 六本木一丁目駅 徒歩5分(3番出口)

東京メトロ銀座線 溜池山王駅 徒歩7分(13番出口)

バス

都営01系統バス(渋谷〜新橋グリーンシャトル)

赤坂アークヒルズ前下車